The background is a light blue gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across the surface. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

育児や家事がもたらすもの

# 目次

- 1.インタビュー対象者の紹介
- 2.インタビューから考えたこと
- 3.まとめ

# 1. インタビュー対象者の紹介

# 築地先生

- 名古屋市立大学 薬学部で講師
- アルツハイマー病やALS(筋萎縮性側索硬化症)などの脳の疾患が発生するメカニズムについて研究  
治療薬の開発のため

## 仕事以外の時間

### ➤ 趣味は「育児」

- 趣味は子どもと一緒にできること... 映画、スキーなど
- 子どもと関わることでストレス発散

➡ 楽しみながら子育てをしている

# 子育て観

## ➤ 大きな母の存在

- 身近な“成功例”となった

三人の子どもを育てたこと、大学教授だったことでお手本に

- 子育て、家事へのフォローが手厚い

「母に任せたんだから、きっぱり切り替える。」

↑ 自分は母親であることを一旦忘れて、仕事に集中

## 仕事をする意味、仕事ができる理由

### ➤「仕事もして子育てもすることが夢」

女性がキャリアを積む上では、旦那さんの理解があることが大切

旦那さんが奥さんがキャリアを積むことを尊重することが、  
仕事をやっていけている原動力となる

# Bさん夫妻

- 夫: 社会保険労務士  
NPO法人 ファザーリングジャパン の一員としても活動
- 妻: 保険の営業
- 子どもは4人

リスク回避のために共働きする



# 周囲の理解：妻の職場

育休を取りづらい雰囲気はない

妊娠中、子育て中でも高いノルマが求められる

定時に帰りづらい

子どもを祖父母に頼めばよいと言われる

# 家事の分担

- 料理は夫の担当
- それ以外は決めておらず、気が付いた方が行う
- 家事や育児、仕事は夫婦両方が行った方がいい
- 家事や育児の最適なバランスはライフステージで変わっていくため、普段から夫婦間でコミュニケーションを取ることが重要

# 将来の展望

(妻)

- 定時で帰るのが当たり前な社会。
- 強い人だけでなく、普通の人ができる。

(夫)

- 性別に関わりなく、夫婦が共に支え合える社会。
- 違う価値観の相手を尊重し合う。

# 岩佐さん

- 名古屋市立大学 図書館 山の畑分館  
分館主任(分館のまとめ役)
- 本の貸し借り  
学生や研究者の意向を汲み取ったサービスの提供  
(データベースや電子ジャーナル契約、目録作成等)
- 年代を経るごとに仕事の内容も変化  
(目録カード→システム化、居場所・学習場所)

# バランスの取り方

- 仕事と家でスイッチの切り替え

仕事とそれ以外のバランスはやっているうちに

- 子育ては子育て、仕事場は自分の世界  
子育てが面白い、楽しい→日々の喜びへ  
自分の時間を犠牲にしている感じはない

- 夫の職場の変化

# 仕事をする意味・やりがい

- 職場は、個人として、1人の人としての居場所
- 今、大学図書館の将来が見えにくい時期
  - 業務委託、正社員は経営面のみ行う流れ(私大で)
- 組合員としてこの職場を守りたい
  - 業務について本当に本部の人が理解しているのか

学生さんや先生方を全力で応援したい

# 親との関係、役割分担

- 結婚当初 核家族→風呂掃除以外の家事を全て担当
- 相手の両親と同居→平日の食事を任せている
- 嫁という役割を考えると肩身が狭い部分も
- 負担をかけてしまう点から子ども達は保育園へ
- 小学生になっても学童保育へ
- 病気の時だけは見ていてもらい、安心して仕事へ

## 2. インタビューから考えたこと



働く意味

家族のために  
働く！！！！

その一方で...  
女性の方々から  
感じたこととして...

\* 結婚や出産を経て、妻・母となっても  
自分の目標や夢を達成したい。

\* 妻や母としてだけでなく  
1人の人として社会で働きたい。



職場は個人としての  
居場所

# 家事や育児は意外と楽しい！？

✓趣味の時間がなくなってしまうのでは？

→子どもと過ごす時間を楽しんでいる

✓毎日家事をするのは大変では？

→家事のなかにも趣味ができる

→夫婦で協力しあえば負担は減る

→夫婦間のコミュニケーションツール

# 同居、親の存在

- 周囲の認識：親に預けて働いたらどう？
- 自分の親→頼る事ができる（仕事、健康状態にもよる）
- 相手の親→嫁という立場上頼りにくい→保育園へ

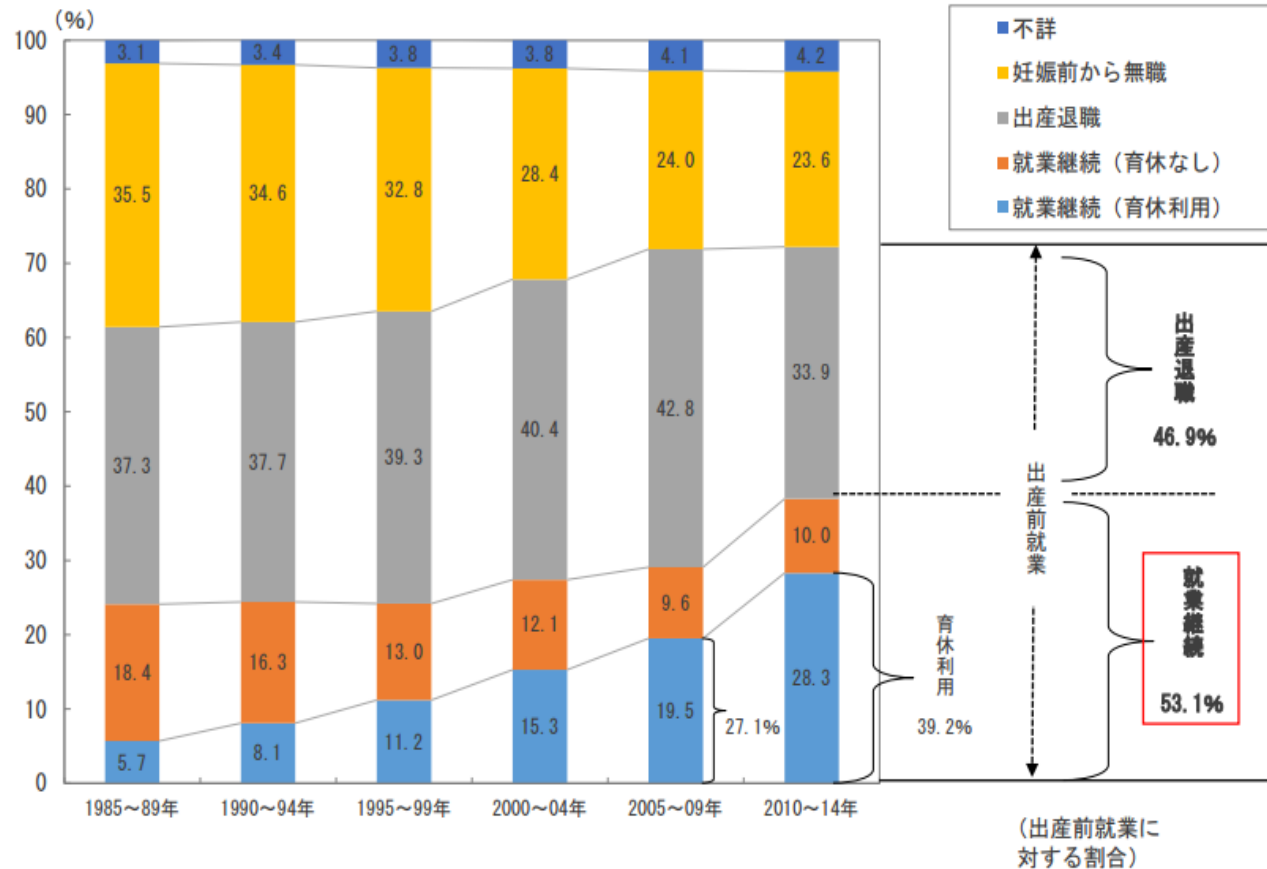
但し、家事の一部は任せる

➤頼れる存在は大きい



# 周囲の理解

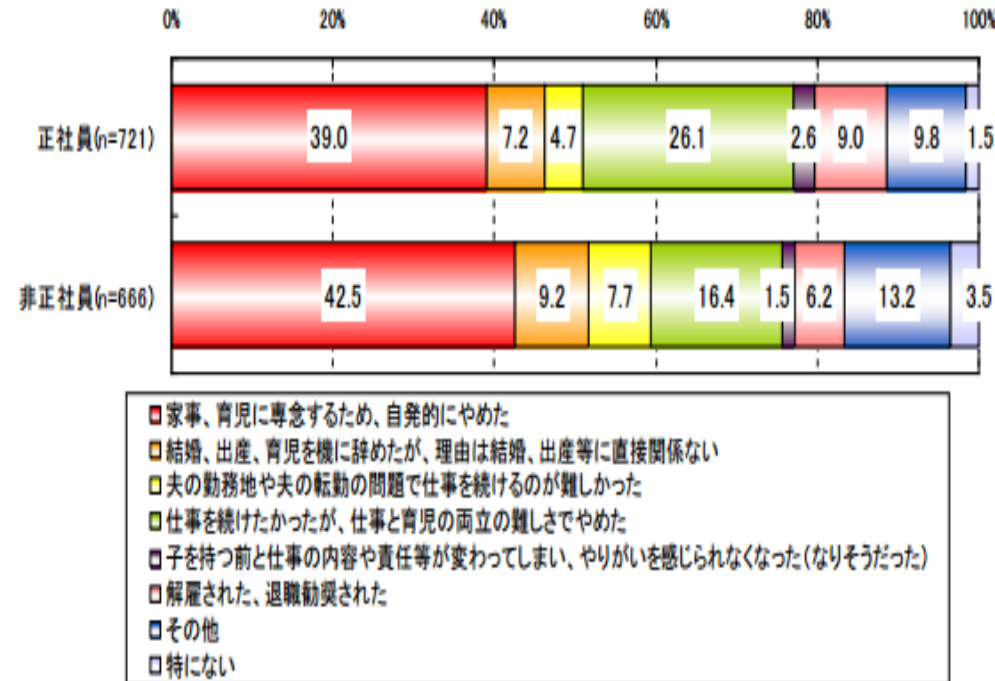
# 第1子出産前後での就業状況



- 妊娠・出産前後の離職者は若干減少
- 出産退職する人が半分近くいる
- 女性の出産後の継続就業は困難

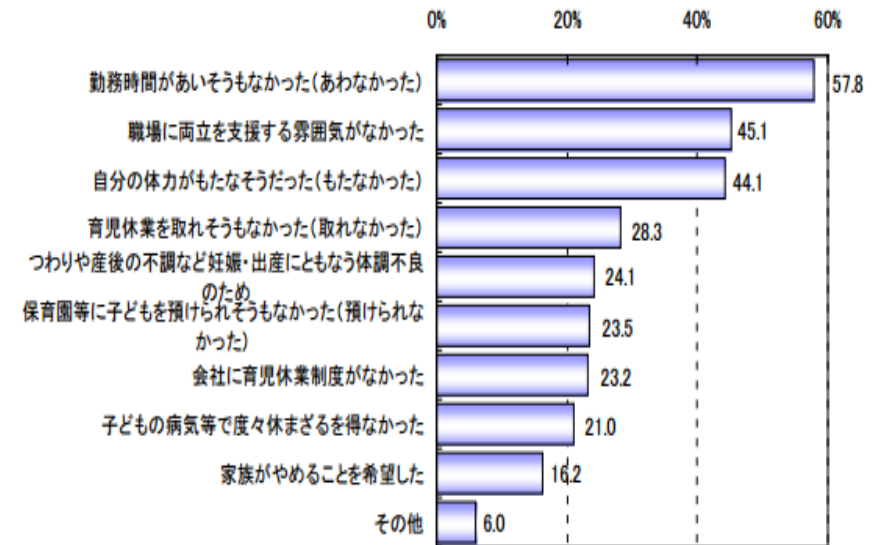
# 仕事をやめた理由

図表 77 【女性】「最初の子を持つ直前」の就労形態別この時期に仕事を辞めた一番の理由



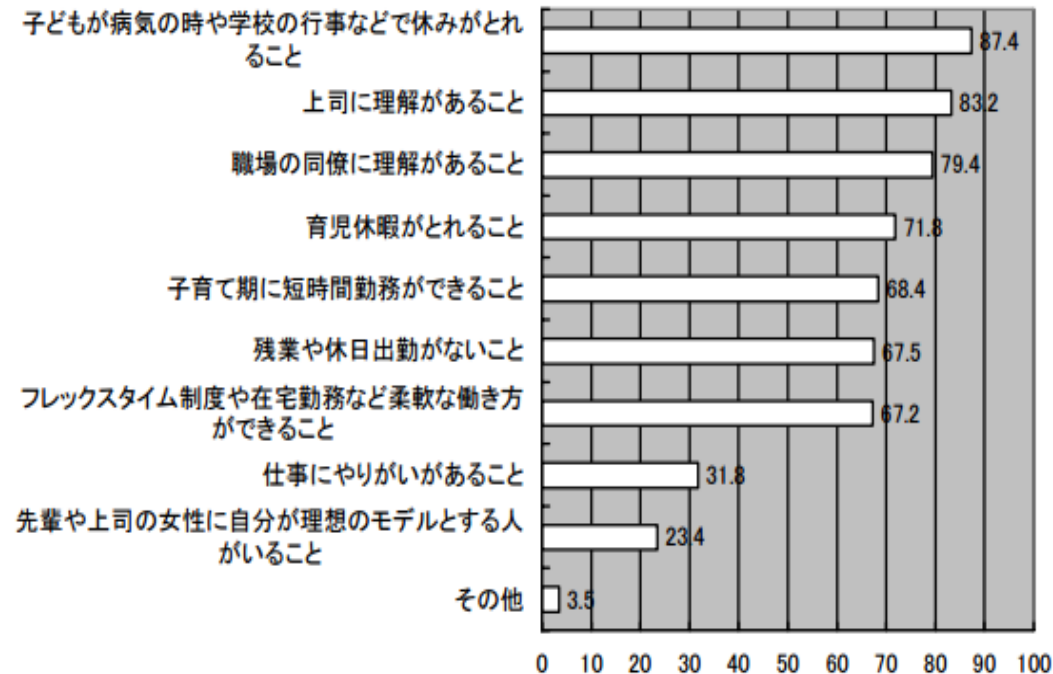
「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさでやめた」と答えた女性に、さらに具体的な理由を聞くと、「勤務時間があいそうもなかった(あわなかった)」が 57.8%でもっとも多い。次いで、「職場に両立を支援する雰囲気がなかった」が 45.1%、「自分の体力がもたなそうだった(もたなかった)」が 44.1%で多くなっている。

図表 78 【女性】辞めた具体的な理由 n=315





# 子育てと仕事の両立に必要なと思うこと

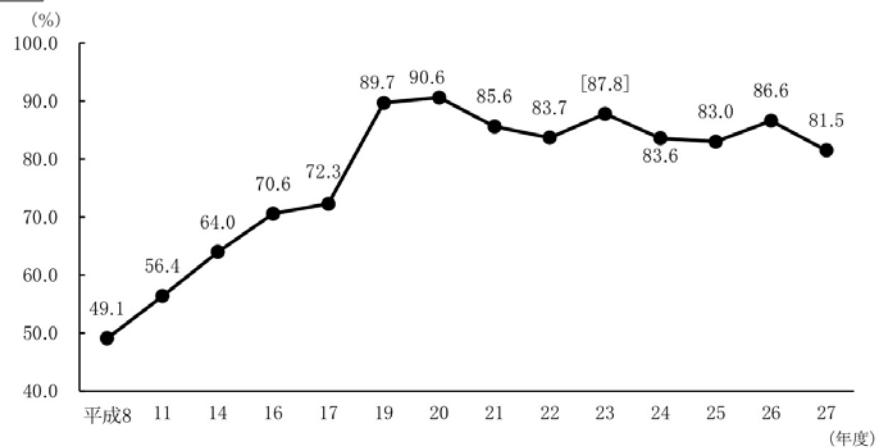


- 子育てしやすい制度が整っている
- 周囲の理解がある

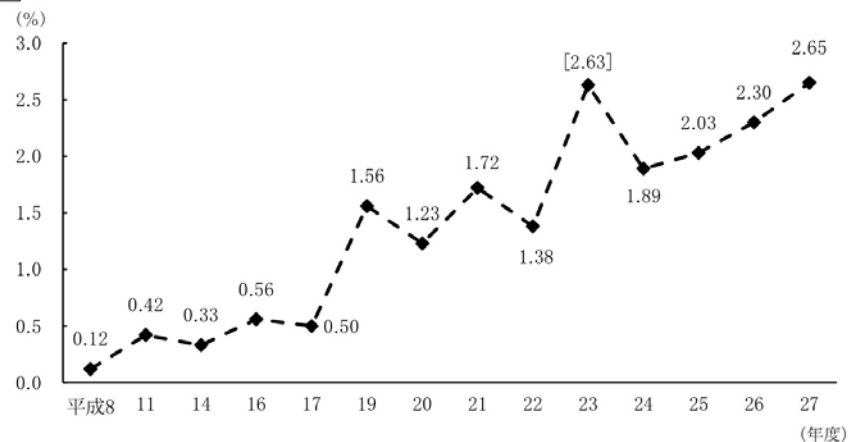
# 育児休業取得率

(女性)

図4 育児休業取得率の推移



(男性)



注:平成23年度の[ ]内の割合は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

- マタニティ・ハラスメント
- パタニティ・ハラスメント

## まとめ

- いろんな生き方を知る必要がある
- 先入観に縛られない
- 家事・育児と仕事の両立は誰かのサポートがあって成り立つ
- 育休制度は整っていても、一番大事なものは周囲の理解や雰囲気
- 男女共に育児と仕事を両立出来るような職場環境が理想

ご清聴ありがとうございました

# 参考文献

- 「『第1子出産前後の女性の継続就業率』の 動向関連データ集」(内閣府)  
[HTTP://WWW.CAO.GO.JP/WLB/GOVERNMENT/TOP/HYOUKA/K\\_39/PDF/SS1.PDF](http://www.cao.go.jp/wlb/government/top/hyouka/k_39/pdf/ss1.pdf)(参照日:2017年1月10日)
- 「両立支援に係る諸問題に関する総合的調査報告書」(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)  
[HTTP://WWW.MHLW.GO.JP/HOUDOU/2009/09/DL/H0929-1B.PDF](http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/09/dl/h0929-1b.pdf)(参照日:2017年1月10日)
- 「仕事と家庭の両立支援に向けた課題について」(厚生労働省)  
[HTTP://WWW.MHLW.GO.JP/SHINGI/2008/02/DL/S0228-6B.PDF](http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/02/dl/s0228-6b.pdf)(参照日:2017年1月10日)
- 「平成27年度雇用均等基本調査」(厚生労働省) [HTTP://WWW.MHLW.GO.JP/TOUKEI/LIST/DL/71-27-07.PDF](http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/71-27-07.pdf) (参照日:2017年2月13日)